

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成28年 9月28日（水）午後6時30分～8時55分

【会場】西地区コミセン

【対象地域】桂木、北斗、新富、西、学田地区、清水山、島ノ下

【出席者】38人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
市民生活部	今回の台風で空知川河川敷のサッカー、ラグビー場などの施設が被害にあったが復旧にかかる経費や復旧までにどれくらいかかるのか。	【市民生活部長】復旧にかかる費用としては約2千万円を見込んでいる。修復については芝の状況もあるので、完全に使える状況になるのは来年度以降までかかる。使用できない期間については、今後の協議にもよるが、学校のグラウンドで対応していきたい。
建設水道部	今回の台風は空知川や富良野川の水位上昇で無頭川などの小河川や水路が逆流する事態が発生している。河川の中州を整備することにより、被害が最小限になると考える。	【建設水道部長】富良野川については北海道で現在整備を進めている。空知川は国で浚渫を行うという連絡が来ている。他の各河川の土砂対策については、国や道に対して要望し、早期の浚渫を進めていきたい。 【市長】北海道河川については、富良野圏域の市町村において北海道に早期浚渫を要望している。今回の台風では、北海道が激甚災害の指定を受けたことにより、市単独でさまざまな形で国の補助を受けることができるので、これを踏まえ今後要望をしていきたい。
総務部	今回の台風により、町内会の自主防災組織で連絡体制を整えたが、避難所がすでに西中学校に設置されており、自分たちとしては近くにある緑峰高校へ避難することとしていたため対応が右往左往した。各町内会で組織する自主防災組織の横の連携が必要と考える。	【総務部長】広報車をはじめ、各町内会長や自主防災組織の方に連絡するなどの対応をしているが、情報を伝達するためには不十分な面もあり、安全安心メールによる登録のお願いをしている。今回の山部地域における避難の状況を踏まえて今後対応していきたい。 【市長】今回の災害の教訓を生かし、避難勧告や指示が出ている地域だけでなく、近隣の地域にも情報を伝達する横の連絡体制を作る必要があると考える。

総務部	自主避難について町内会の自主防災組織で対応したが、タイムリーに情報が伝達されるようにしていただきたい。	【副市長】山部地域の避難指示の際にも情報がわかenらうという人がいたので、反省点として今後対応していきたい。
総務部	<p>実際に避難するとなると、遠方まで避難するのは難しい。2階建ての場所など避難場所を近隣にするなど分散することを検討してはどうか。</p> <p>避難場所の話がでているので、参考意見として近隣の民間施設（フォーレスト店など）も避難場所として使えるようにしてはどうかと考える。</p>	<p>【総務部長】必ず市が指定している避難場所だけではなく、自分で自分の身を守るために、地域の頑丈な高い建物に一時避難していただきたい。</p> <p>【市長】町内会ごとに近隣の避難先を決めるなど、今後検討していきたい。</p> <p>【副市長】今回はハザードマップに従い、一番低い土地の地域である西町と北斗町に避難勧告を出していたが、避難しなくても良い近隣の地域に情報がいかなかったため、今後は近隣の町内会も含め対応していきたい。</p>
建設水道部	他のまちにおいて、アンダーパスで水害による車の事故があった。富良野市にもアンダーパスが1箇所あるが管理体制はどのようになっているのか。	【建設水道部長】富良野市のアンダーパスについては北海道の管理となり、危険な状況の場合は電光掲示板及び北海道の職員が通行止めなどの措置をすることになっている。
建設水道部	河川の柳の木を切ることで災害時の水位を抑えることができるのではないか。	<p>【建設水道部長】北海道の河川については富良野圏域の市町村において要望していく。市の河川については、パトロールを実施するとともに、必要に応じて予算措置して対応していきたい。</p> <p>【副市長】北海道の河川については、10月に富良野圏域の市町村で北海道に要望する。</p>
総務部	懇談会には発言の制限があるのか。	【市長】制限はない。自由に発言していただきたい。
建設水道部	市道には穴や亀裂のある箇所があり、自転車事故など市民の安全安心に欠いている。市道の管理や整備について聞きたい。	【建設水道部】経年劣化により破損した市道の穴や亀裂箇所については、職員による市道のパトロールや町内会・民間会社からの

建設水道部	<p>昨年、市長は市道の穴などは1箇所も無いと回答したと思う。今後は簡易的な修繕ではなく、きちんとした道路整備が必要であると考えます。</p>	<p>情報提供により、速やかに道路の修繕を実施している。道路の整備については、主要生活道路や通学路を中心に計画的に整備を進めている。</p> <p>【市長】市民生活の向上を図る上で、道路整備は住民の要望を踏まえ、計画的に予算の状況を見ながら進めている。</p> <p>【建設水道部長】道路の整備は、防塵対策として昭和50年ころから5センチ舗装及び道路側溝を整備する形で進めてきている。道路の舗装は市単独の事業では予算が膨らみ、他の予算にも影響するため、限られた予算の中で優先順位をつけて計画的に道路整備を行いたい。</p> <p>【副市長】総合計画で大きな事業については掲載している。防塵対策についても計画的に実施している。</p>
建設水道部	<p>市道南4丁目4の側溝が昔からない状況である。整備計画はどのようになっているのか。</p>	<p>【建設水道部長】市としても懸案事項であり、地権者との交渉が難航している状況である。引き続き交渉を進めていきたい。</p> <p>【副市長】一昨年も同様の意見があり、まだ地権者との交渉が解決しない状況である。</p>
建設水道部	<p>宅地造成された公園など地域住人は有効活用しているのか。</p>	<p>【建設水道部】公園は市、または委託により草刈りなどの維持管理を行っている。また、リフレッシュ事業により老朽化した公園については順次整備を進めている。宅地造成による緑地は、公園に位置づけられているが、住民の避難場所として確保されている。未整備の児童公園については、リフレッシュ事業終了後に利用状況を踏まえて整備を進めていきたい。</p>
市民生活部	<p>出会いサポート事業の詳細を教えてください。</p>	<p>【市民生活部長】今年度より出会い総合サポート室を設置し、事業を展開している。一つは結婚希望者を登録してもらい、登録者</p>

<p>市民生活部 教育委員会</p>	<p>山部地域は連合町内会協議会や文化協会に加盟していない状況があり、富良野市として同じことを進める上では、1つになっていくべきと考える。</p>	<p>した希望者同士で会う機会を作ってもら。一つは結婚希望者の相談役としてボランティアのサポーターを登録する。現在1名が登録されている。一つはイベントなどにより出会いの場を作る。9月には民間団体との共催により婚活イベントを山部地域で開催している。サポーターなど市民のみなさんにも協力をお願いしたい。</p> <p>【市長】富良野市においては、各連合町内会で任意で組織された富良野市連合町内会協議会があるが、一部の連合会については加入していない状況である。すべての連合会が加入していただけるよう協議会では努力をしているが、市としても加入の呼びかけをしていきたい。</p> <p>【教育部長】市内には3つの文化協会（富良野・山部・東山）があり、その上部組織として富良野市文化団体協議会がある。協議会には3地域が加盟し、富良野市全体において活動をしている。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>住民要望に応える除雪をお願いしたい。</p>	<p>【市長】富良野市の除雪は他の市町村に比べると丁寧に行なわれていると考えている。札幌などの大都市は1車線しかないところもある。個人の敷地の雪を道路に出す人もいるため、それが原因となり交通障害を引き起こしていることもあり、できるだけ道路に雪を出さないよう町内会を通じて啓蒙を図っている。また、緊急的に除雪が必要な場合は、職員が早朝から除雪などを実施している。除雪は優先道路から計画的に行っており、昨年からは中通りの除雪も実施している。</p>
<p>総務部</p>	<p>子育て支援など人口減少対策についてさまざまな事業を展開しているが、冬の富良野の魅力をPRするなど、他の対策について今後の展望を教えてほしい。</p>	<p>【市長】10年単位で富良野市総合計画を策定し、5年ごとにローリング作業を行い、今年度については国の地方創生により、総合計画に地方創生に関わる事業を加えている。特に基幹産業であ</p>

経済部	人口減少対策の説明においてはソフト事業だけのように感じるが、具体的なまちづくりに対する考え方を教えてほしい。	<p>る農業を守るため、市単独で富良野市農業担い手育成センターを設立し、長期にわたって農業の担い手育成を図っていく。また、観光産業における若者の雇用確保に向けて、今年度から企業誘致に力を入れるなど、将来に向けた対策に取り組んでいきたい。</p> <p>【市長】就任してから約 10 年になるが、この間におけるまちづくりの構想は常に考えながら、市として事業などを進めている。特に、市民との協働によるまちづくりを進めるため5年前から中心市街地の活性化を一つの大きな柱として取り組み、マルシェ・マルシェ2には年間 120 万人が訪れている。この経済効果は平成 27 年で 7 億 9 千万円の売り上げがあり、雇用についても 98 人が働いていると聞いている。また、中小企業への融資制度の支援拡充や店舗改修・家賃補助などを実施することにより、新しい店舗などが開業している。市民のみなさんからは多くの要望の声があるが、限られた予算の中で何を優先すべきかをみなさんに理解していただき、取捨選択することが市長の務めであり、行政の役目である。</p> <p>【副市長】今回は平成 28 年度の主な取り組みを抜粋して説明している。</p>
-----	--------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------